

専攻主任 ご挨拶

社会福祉学専攻 専攻主任 中村 強士



唐突ですが、『りんごかもしれない』(ヨシタケシンスケ・ブロンズ新社)という絵本をご存知でしょうか。誰がどうみても「りんご」なのですが、これを主人公の男の子は「～かもしれない」と疑い続けるのです。その疑う内容に読者はくすつと笑うのですが、同時に疑う幅に驚かされます。普段何気なく通り過ぎるもの／ことに疑ってかかること。これが物事を主体的に考える研究の入口ではないかと思うのです。

私たちを取り巻く「ふくし」は、「仕事」あるいは「生活の一部」のため、「問題」が起これば「解決する」ことはあっても、その問題を疑ったり、主体的に考えたりすることはありません。悪く言えば「流されて」しまっています。

日常に流されないためにも、ぜひ「人生の節目」に「大学院」という道を選びませんか? 自分の仕事や興味関心のありようを疑い、主体的に考えるために、志をともにする仲間と一緒に「研究」しませんか? 私たち教職員は、仕事をしている方々、家事や地域活動に取り組んでおられる方々をはじめ、みなさんが「日本福祉大学大学院」という学び舎の門を叩いてくださることをお待ちしております。

本専攻は、通信課程にふさわしい多様な社会福祉領域を学ぶことができるカリキュラムを用意しています。また、その学びの方法についても、これまで検討を重ねてきました。もちろん、今後もより院生が研究を進めやすくなるような環境づくりをしていきたいと考えています。

日本福祉大学は、わが国で最初の福祉系大学として誕生以降、学部教育はもちろん、大学院においても、これまで多くの社会人院生が学び、巣立っていかれました。私たち教職員は、みなさんの夢の実現に向けて、精一杯支援したいと考えています。

専攻の概要

【課程名称】 社会福祉学研究科 社会福祉学専攻 修士課程 (通信教育)

【修業年限】 2年

【授与学位】 修士 (社会福祉学) Master of Social Welfare

【入学定員】 30名

修了要件

本課程に2年以上在学し、特講科目(必修科目1科目2単位を含む)10科目20単位以上、演習科目2科目4単位を必修、計24単位以上を修得し、かつ特別研究指導演習I、IIの2科目(必修)計6単位を修得し、必要な研究指導を受けた上で修士論文を提出しその最終試験に合格すること。

■本課程に2年以上在学

特講科目
(必修科目2単位含む) **20**単位以上

演習科目 **4**単位

特別研究指導演習I
(修士論文指導:1年次後期) **2**単位

特別研究指導演習II
(修士論文指導:2年次通年) **4**単位

修士論文を提出 ▶ 審査および最終試験に合格

専攻の特徴

伝統ある指導体制と充実したプログラム

社会福祉学研究・教育のパイオニアである日本福祉大学専任教授陣、学内外の各分野スペシャリストと本学独自の通信教育システムによる質の高いカリキュラムと指導体制、充実したプログラムを誇ります。

本学独自のポータルサイト【nfu.jp】を活用した効果的な研究・学習

テキスト教材による学習を基礎としながら、本学独自のポータルサイト【nfu.jp】上での教員の指導や院生間の討論・意見交換を行いながら学習研究を進めます。

演習科目

研究基礎演習とケースメソッド演習の2科目について、オンラインでの学習と4回のスクーリングを併用して学習します。研究の基礎から、独自に作成したケース教材を活用した演習で、院生同士のディスカッションを中心に進める授業を導入。集団運営に必要な相互理解の視点やコミュニケーション能力、多角的な問題分析能力や、解決策の提案力、批判力等を養います。

質の高い修士論文執筆に向けた、きめ細やかな指導体制

入学後、研究方法の基礎を修得した上で、修士論文指導教員を決定。1年生後期からは、スクーリングやオンラインでのきめ細かな指導を受け、質の高い修士論文執筆を目指します。遠隔地在住の方も安心して、研究が進められる個別指導体制を整備しています。

社会人にとって学びやすいスクーリング ※毎回のスクーリングは全て名古屋キャンパスで実施し、参加必須です。

スクーリングは土日に開催し、対面授業、修士論文指導、修士論文報告会、教員・院生交流会など多彩な内容のプログラムを設けています。会場である名古屋キャンパスは名古屋駅から公共交通機関の利用で約10分の好立地です。

修了後も学び続けられるネットワーク

スクーリング時には同窓会・大学院合同企画を開催し、修了生と在院生の交流の場を設けるのを初め、大学院主催の公開講義、研究論集への投稿募集、研究科合同修士論文発表会の開催案内等を行っています。